

友達と私

グループ4 福田 博己

僕の大切な社会は「友達」です。友達は僕にとってかけがえのない存在です。友達と一緒に遊んだり、友達と一緒にご飯を食べたりして生活の一部になっていて欠かせない存在です。嫌なことや悩み事があるときに友達と遊んだり話したりしていると悩み事が解決したり自然と忘れることができます。悩み事というのは人間関係や勉強、将来への不安などが多いです。もし、ともだちがいなかったらと考えるとぞっとします。友達に助けられることも多いので感謝しています。

僕たちは散歩でグランマートから大学の近くの公園に行きました。友達と公園でもよく遊んだりするので公園にいきました。グランマートでは公園で食べるサンドイッチ、お菓子を買いました。散歩した日がハロウィンということもあって店員さんにお菓子をもらうことができとてもラッキーでした。公園にいくと幼稚園児がたくさんいてとても癒されました。小さくてかわいかったです。公園では東日本大震災やアルバイトなどの話をたくさんしました。天気予報は曇りで不安でしたが天気もとてもよく充実した時間を過ごせました。

もう一つの散歩は千秋公園に行ってきました。千秋公園には花見などで友達とよく行くので行ってきました。千秋公園では写真を撮ったり城を見たり紅葉を見たりしてきました。とてもきれいでした。おみくじがあったのでひいてみると末吉でした。大吉を引いているメンバーもいたのでうらやましかったです。次、引くときは大吉を引きたいです。昼食は駅中で秋田の比内地鶏をつかったカレーを食べました。肉が柔らかくておいしかったです。千秋公園の散歩もたくさん話すことができましたとてもたのしかったです。

前回、話し合いをして気付いたことは友達といっても細かく分けるとたくさんの種類の友達がいるということです。たとえば、「学科」の友達、「サークル」の友達、「地元」の友達などたくさんいます。「学科」の友達とは学食と一緒に昼食を食べたり、テストに向けて勉強したりして助けてもらうことが多いです。また学科の友達とは空きコマに友達の家でサッカーゲームをして勝ったり負けたりでみんなで盛り上がり、中間テストや期末テストが終わると仲が良い友達とごはんを食べに行ったりして気持ちの切り替えができ、とても充実した時間を過ごせています。

「サークル」の友達とは試合に向けて練習を頑張ったり、荷物運びを協力してやったりしています。練習中ではどのようなことに意識してプレーするか、試合中では自分とチームメイトの考えていることが合わなかったときなどは本音で話し合うことも多いです。サークルが終わると誰が荷物を持って帰るのかを決めるじゃんけんもいつも負ける人がいたり楽しい時間でもあります。また、試合や練習が終わったらチームのメンバーで外食をしたりグランマートに買い物に行ったり、夏には太平山の方までグラウンドゴルフやりに行きました。とても楽しくいい思い出です。私にとって学科の友達、サークルの友達すべて大切ですが一番大切なのはと聞かれると「地元」の友達です。理由は地元の友達は幼稚園から高校までずっと同じ地域、同じ学校で過ごしてお互いに良いところや悪いところも知ってるし、本音で話せる仲だからです。地元の友達の家で夜遅くまで昔の話をして盛り上がり、ボーリングやカラオケなどにいったのはすごく楽しかった記憶があります。久しぶりに会って毎回ほとんど同じ話をするのになぜか毎回笑ってしまいます。

冬休みに岩手に帰った時は、地元の友達四人くらいと近くのスキー場に行ったり、夜に友達の車でラーメンを食べに行きそのまま友達の家で DVD を見たりしていました。地元に残っていたら考えることはないと思いますが、秋田で一人暮らしをしているとたまに地元の友達にすごく会いたくなるときがあります。実際、夏休みに地元に戻った時は暇な日はほぼ毎日友達と遊んでいました。それだけ、私にとって地元の友達は欠かせない存在であるとおもいます。また、地元の友達と大学の友達では今住んでいる場所と付き合っている年月が全く違うことも私が地元の友達の方が大切と考える理由になっているかもしれません。地元の友達とは 15 年くらいの付き合いがあるけれど、大学の友達とはまだ 1 年もたっていません。その面ではもっとこれから仲良くなれる機会はあると思います。地元の友達はほとんどの人が日本各地いろんな所に行っていて、大学の友達はほとんどみんな近くに住んでいます。長い年月の方がお互いを知れる期間があるということになるし、近くにいると大切な存在に気付かず離れてみて初めて気付くこともあると思います。大学の友達はまだまだ知らないこともたくさんあるし、我慢することもあるので本音で言い合えるような関係になっていけたらいいなと思います。私はまだ大学の友達に言いたいことがあっても我慢することが多くあります。例えば、自分や友達の嫌なことを平気で言われてしまったり、家で飲み物をこぼしたときに謝られなかったときなど様々です。我慢してしまうのは自分の思っていることを言ってしまったら仲が悪くなってしまうかもしれないし、自分の周りにいる友達も変な雰囲気になってしまうと思っているからです。でも、自分の思っていることを素直に相手に伝えられればもっと仲良くなれると思うし、なぜそう思うのか、どのようにしてほしいかなどをしっかりと伝えれば相手も分かってくれるはずなので本音で言えるようになればいいし、なりたいです。

また私は友達にも様々いると思いました。友達でもたまにしか話さない人や、いつも一緒にいてなんでも話せる人、くだらない話をして盛り上がる人など様々います。いろんな友達がいていいと思うし、それぞれの付き合い方があっていいと思うし、いろんな友達がいるから楽しいと思います。自分がどのような人と仲良くなりやすいかと考えてみると一緒にいて楽しい人、一緒にいて気をつかわなくていい人と仲良くなりやすいと思います。一緒にいて楽しいというのはお互いに共通の趣味を持っていたり、楽しそうに話をしてくれるなどとても話が弾んで楽しいということです。一緒にいて気をつかわなくていいというのは最初のころは相手はどう思っているのかなど気をつかうことがあったけど、時間がたって気をつかわなくてもいい人といつも一緒にいるし仲良くなっていると思います。

なぜ友達が自分にとって大切な社会かというのは、一人では解決できないことも数多くあるし一人ではさびしいし、自分が気をつかわなくていい居場所があるからだと思いました。私はこれから今まで以上に友達を大切にしていきたいと思ったし、友達が困っているときには助けてあげたり、悩んでいるときには相談にのってあげたりしたいです。

「社会」とは何かと考えてみると、たくさんの人がいて、たくさんの人と関わってできていくものだと思います。自分も社会の一部だと思うのでこれからもよりたくさんの人と関わってきたいです。